

きめ細かな声を 町政に



川床会場

10月3日 川床コミュニケーションセンター

●招魂祭開催時の対応について

Q 杉ノ段で毎年、招魂祭が実施され1000人以上の人でにぎわっている。トイレはあるが老朽化しており足洗い場もない。公民館も開放するが後始末が大変である。何か方策はないか。

A 30年以上前に整備した。老朽化している。招魂祭では小学生の相撲もあり足洗い場の整備も検討する必要がある。(助役)

A 公民館の開放はありがたい。来年度からは簡易トイレの設置等、社会福祉協議会とも検討する。また足洗い場についても検討したい。(町民福祉課)

A 杉ノ段は長島町の交通の要所である。五差路から鷹巣までの道路を約2000万円かけて測量する。県道改良など道路の整備も進めていく。また、観光事業としての風車を含めた公園整備なども研究していく。(町長)

●健康づくりについて

Q 基本検診の自己負担が1、300円になったが、軽減措置はないのか。

A 昨年の合併協議会で個人負担が1、300円ということに決定した。低所得の方には軽減措置をとる。対象者には通知する。(保健衛生課)

Q 昨年、健康教室に参加して運動や食事に気をつけてコレステロールが低下した。町民の健康増進のためにも、また実施していた

だきたい。

A 個別健康教室で、約半年間で10人程度が参加した。旧東町の事業である。18年度の計画もあると思うので案内を行いたい。(保健衛生課)

●高齢者福祉について

Q 防災無線の点検はどうなっているのか。先日台風で停電した時に防災無線が聞こえず、一人暮らしの高齢者などは電池の交換もできない。高齢者の所だけでも定期的な点検はできないか。

A 主管は総務課なので連絡をして欲しい。現在、定期的な点検等は行っていない。(企画財政課)

A 平成19年度から福祉事務所を開設する。人件費等で3000万円程度の経費節減ができる。節減できた分で、きめ細かな福祉サービス(独居高齢者の訪問)などを実施したい。(町長)

●少子化・教育問題等について

Q 少子化が進んでいるが、どのような問題があるか。対策のアイデアは何かないか。(町長)

A 学校以外に地域に子どもが遊ぶ所がない。

A 働く企業や住宅がなくて、若い人が出て行く。

A 川床診療所の隣が町有地なので活用方法を検討している。また、長島高校跡地についても県の施設であるが、企業誘致も含め活用を研究している。(町長)

Q 劇団飛行船が今年から来ない。そのような大規模なものではない。そのような良いから、各地域で親子で、無料で参加できる情操教育が

できないか。

A 自主文化事業にも予算は確保してあるので、主管の社会教育課に要望があるということを伝える。(企画財政課)

●その他について

Q 韓国との姉妹都市交流は継続するのか。

A 韓国吉祥面と姉妹都市交流を行っており、今後も継続していく。平成19年度に交流事業を予定している。(企画財政課)

Q 地域に婦人会がないところが多いが、原因は何だと思っか。(助役)

A 婦人会の対象者となる人自体が少ない。

A 仕事を持つ人が増えて、若い人は加入しない。

A 会長などの役をするのが大変である。

A 黒之瀬戸大橋駐車場付近を改修して、朝市や特産品販売等計画している。平成19年度から整備をしたい。ブースを設けて、各団体が運営して欲しい。九州新幹線全線開通時の観光ルートとしても売り込みたい。(町長)

鷹巣会場

10月4日 長島町開発総合センター

●スポーツ活動について

Q スポーツ少年団のナイター使用が有料になった。また、グラウンドや駐車場入口も整備されていない。なんとかならないか。

A 使用料等については合併協議の中で受益者負担を求めることに